

「心が変われば行動が変わる」

新年おめでとうございます。今年は塾生一人一人の成長につながるよう、新たな抱負に向かって自主と実践を大切に作る1年にしてほしいと思います。

昨年暮れに星野仙一著の「星野流」という本を読む機会がありました。実は、星野仙一という監督を私はあまり好きではありませんでした。ところが、「星野流」の本を読んで目からうろこが落ちました。感性が豊かで、選手一人一人のことをよく考え、厳しく指導をするときもありますが、落ち込んでいる選手には優しく思いやりの言葉をさりげなくかけて励ましているということが分かったからです。そのような監督だからこそ東北楽天を優勝に導くことができたのだと思います。何事も先入観で人を判断してはいけないと深く反省しました。

さて、この本に出ていた下の言葉は「耕人」第7号でも紹介しましたが、今回はもう少し掘り下げたいと思います。

心が変われば	行動が変わる
行動が変われば	習慣が変わる
習慣が変われば	人格が変わる
人格が変われば	運命が変わる

この言葉は、松井秀喜の恩師と知られている石川県星稜高校野球部総監督の山下智茂さんの手による「四か条の教え」で、今でも野球部のロッカーに掲示されているそうです。この中で最も大切なのが「心が変わる」ということだろうと思います。私たちはそれぞれに夢があり、目標があります。しかし、「そうなれたらいいな」とか「そうなりたいな」という漠然とした夢であり、目標であることが多いように思います。このような気持ちでは「心が変わる」に結びつかないのだろうと思います。自分の心を変えるためには夢や思いを「志」まで高め、目標や願いを「決意」にまで変えていく必要があります。

米大リーグヤンキースで活躍しているイチロー選手は野球少年だったころから「将来プロ野球で活躍する」という夢を持ち、サッカーで活躍している本田選手も「僕の夢はACミランで10番をつけること」と心に決めていたそうです。そのような強い「志」や固い「決意」が「心が変わる」ことであり、それが「行動が変わる」に結びつくのだろうと思います。新年にあたり、皆さん一人一人の夢や目標が「志」や「決意」になり、明日からの行動が変われば、それが習慣となり、人格や運命をも変えていくことに結びつくと思っています。私も新年にあたり新たな「志」を立てました。皆さんと共に頑張っていきたいと「決意」を新たにしています。

中国の古典である『大学』に「かくぶつちち格物致知 せいいせいしん誠意正心 しゅうしんせいけ修身齊家 ちこくへいてんか治国平天下」という言葉があります。自分の持っている良知を真心と正しい心で発揮し、自分の身を修め、家庭を整え、そのような心で国を治め、天下を平和にしていくという意味です。まず、自分の良さを見つけて正しく発揮し、それを進化発展させていくことが『耕人塾』で目指す「人間力」を磨くことにつながると考えています。いい年にするようまず自分が人のために行動することですね。